

■開発状況一覧表(臨床段階)

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	STN1008903 / DE-089C	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	日本						
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、2020年3月にフェーズ3試験を開始。										
シロリムス	STN1010900 / DE-109	ぶどう膜炎	自社	米国						
				日本						
				欧州						
				アジア	2015年4月					
免疫抑制作用、血管新生抑制作用などを有する硝子体内注射剤。米国で、2018年12月に追加のフェーズ3試験を開始。アジアで、2015年4月に販売承認を申請。										
タフルプロスト / テモロールマレイン酸塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国						
プロスタグランジンF ₂ α誘導体およびβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2019年1月にフェーズ3試験を開始。										
オミデネパグ イソプロピル	STN1011700 / DE-117	緑内障・高眼圧症	宇部興産と共同開発	米国	2020年11月					
				日本				2018年11月		
				アジア				2021年2月		
新規メカニズムのEP2受容体作動薬。米国で、2020年11月に販売承認を申請。日本で、2018年11月に発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、韓国で2021年2月に発売。										
sepetaprost	STN1012600 / DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						
				日本	(フェーズ2b)					
FP受容体およびEP3受容体への作動作用(デュアル作動薬)を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で2020年12月に追加フェーズ2試験を開始。日本で、フェーズ2b試験を完了。										
アトロピン硫酸塩	STN1012700 / DE-127	近視	Singapore Health Services社、南洋理工大学	日本	(フェーズ2/3)					
				アジア						
小児における近視の進行を抑制するムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2019年8月にフェーズ2/3試験を開始。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。										
緑内障用デバイス	STN2000100 / DE-128	緑内障	自社	米国	2020年6月					
				欧州				2019年4月		
				アジア	2020年3月					
				その他	2020年10月					
原発開放隅角緑内障における眼圧下降を目的とし、房水の流出を促すインプラント手術用デバイス。米国で、2020年6月に市販前承認(PMA)の段階的申請を完了、2021年2月末以降FDAと追加協議を実施中。欧州にて2019年4月に発売。韓国で2020年3月に販売承認を申請以降、アジアで順次申請。カナダで、2020年10月に販売承認を申請。										
ラタノプロスト	STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州						
				アジア						
プロスタグランジンF ₂ α誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。欧州およびアジアで、2019年4月にフェーズ3試験を開始。										

一般名	開発品名	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
netarsudil dimesylate	STN1013900 /AR-13324	緑内障・高眼圧症	Aerie社	日本						
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤。米国では、Aerie社が開発し販売中。日本で、2020年11月にフェーズ3試験を開始。										
—	開発品名	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
眼内レンズ	MD-16	白内障	Oculentis社	日本						2020年11月
白内障手術後無水晶体眼に挿入する、乱視用（トーリック）眼内レンズ。日本で、2020年11月に発売。										

開発コードの附番方法変更に伴い、既存開発コード（DE-XXX）および新開発コード（STNXXXXXX）を併記しています。